

おたる 西別院だより

謹賀新年



別院職員による雅楽演奏

新年のご挨拶

「念仏申さるべし」蓮如上人がお正月に弟子の道徳に仰せられたお言葉です。私達の一生はその日一日、一日の積み重ねによってなり、元旦も含めてどの日も皆大切な一日であります。故にどの日も皆感謝のお念仏を申したいものです。しかし私達は、ついうっかり念仏を申したということはないでしょうか、いろんなことにかまけては、念仏申すことがついおろそかになりがちです。

「ねてもさめても、いのちのあらんかぎりは、称名念仏すべきものなり」とのお示しの上人のお心を、特にお正月のお祝いの言葉としてくださったことをありがたくお聞かせいただきたいものです。お念仏はまさにお正月にふさわしいめでたい、ありがたい言葉であり、尊い言葉であり、喜びの言葉であり、感謝の言葉であるのです。みなさんお正月には、新年の挨拶にいっしょに念仏申しましょう。

12月29日(金)～1月6日(土)まで月忌参りをお休みさせていただきます。

輪番就退任のお知らせ



このたび十一月一日付をもって本願寺小樽別院輪番を拜命いたしました。

はなはだ微力の身ではございますが、輪番としての職責を全うすべく、別院の護持発展と、ご法義繁盛のため精励努力いたす所存でありますので、何卒よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

二〇〇〇(平成十二)年十一月

本願寺小樽別院

輪番 片山 晃英

合掌



このたび十月二十七日付をもちまして本願寺小樽別院輪番の職を退任いたしました。

在職中は、公私にわたりひとかたならぬご厚情を賜りましたこと有り難く厚くお礼申し上げます。

なお、今後は同日付けにて拜命いたしました本願寺派総務として、宗門発展のため微力を尽くす所存でありますので、なにとぞ今後ともかわらぬご教導を賜りますようお願い申し上げます。

二〇〇〇(平成十二)年十月

合掌

波多野 昭方

●3分間の心のともしび●

小樽別院テレホン法話

24時間
いつでもどうぞ

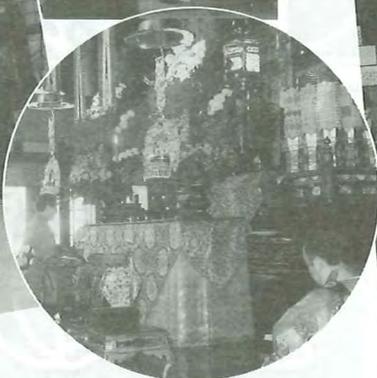
TEL 27-1616





別院フォトクラブ

報恩講
編



次回もお楽しみに。

 株式会社 **日本旅行**

北海道小樽支店

小樽市稲穂2丁目22番4号

☎ 0134-33-4455

(社) 日本旅行業協会会員 

生花を使って花祭壇

札幌葬祭(株)

TEL 34-0444

奥沢1-16-2

花の店 **カトリア(有)**

TEL 23-6487

奥沢1-17-3

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り

TEL (0134) 23-1309 (代)

別院門信徒物故者

(平成12年1月～11月中旬)



カブスカウト 募集!

何でも話しあえる友達をつくろう。

活動/毎月1回 土曜日 午後2時～4時

内容/文化しせつの見学、お泊り会。

小学校2年生から5年生の男子、女子を
大募集!ぜひ連絡下さい。

TEL 22-0744 担当 温井、村田

●活動内容/文化活動、ボランティア
月1回例会(土曜日・日曜日)
各種レクリエーション
(ボーリング、カラオケ、スキー等)
10代、20代の男女を待っています。
ぜひ気軽によってください。

仏教青年会 会員大募集!

連絡 TEL 22-0744 担当 日野、村田

おつとめ しま専科!

只今、会員さん増殖中!!

伝染あるよ

対象/どなたでもどうぞ。

費用/特に必要なし!

日時/月2回の火曜日午後2時

お問い合わせ/今すぐ別院の磯村まで...

十人十声

●「耳と口」



人間には耳が二つと口が一つあります。耳は二つありますが食べ物をいただくことと話すことの二つの働きをします。以前に次の法語を目にしました。「人間は耳が二つに口一つ 多く聞いて少し言うため」私達は熱心になればなるほど口に力が入り口がとがってきます。それと同時に人の話を聞くことがおろそかになって、話をしている会話にならず、しまいにケンカになって熱くなったり寒くなったりいたします。又、自分ばかりしゃべりたてて人の話を聞こうとしない人は場合によって相手を退屈させ、人の話を熱心に聞いてくれる人は好感がもてても人も寄りたがるのではないのでしょうか。自分の生活を振り返るとき、口の働きの多きことに気づかされます。

●いつも始まり

武藤 二孝

二〇〇一年は、二十一世紀の始まりです。新しい時代に、希望と期待で胸がふくらみます。



さて、元旦は新しい年の始まりです。学校の卒業は終点ではなく社会生活の始まり、結婚も終点ではなく夫婦生活の始まり、退職も第二の人生の始まり。人間は一生の間、終着ではなく始まりを繰り返します。

●「生きたことば」

中島 賢潤



意味をもった生きたことばによって物をはじめ、人との交流の扉が開かれるといわれています。ことばは対話することによってことばの生命が人間を生かしていく働きをもっています。「南無阿弥陀仏」はことばです。このことばこそ人間をほんとうに生かしてくださるんだと、生涯をかけて証明して下さったのが親鸞聖人です。

●宗旨の違う親族

村上 隆昌



ある御門徒さんから質問がありました。宗派の違う家に嫁いだ娘が、後は見てあげると言ってくれたそうです。

その家は、代々浄土真宗ですが宗旨の違った方と一緒に内仏の前でおつとめすることや、先祖代々の墓についてでした。しかし、考えてみればどんな事柄にも初めと終わりがあつてを思う時、どうにもならない場合には、その事実を事実のままに受け入れていくだけの覚悟が必要だと思えます。親鸞聖人は「つくべき縁あればともない、はなるべき縁あればはなるることのある」と、仰せられています。人間の営みはすべて業縁によるものだと言われるのです。そしてこの道理はあらゆる事柄に通ずるものです。

●一年の良かった事、悪かった事

磯村 真一

題名の割には、一年を通して良い事もなく、悪い事もなかったなあ…というのが感想です。でも、あつたんですねえ良い事？が…そう、



あれは十月二十七日のことでした。その日は法務がなかったので、自家用車のオイル交換をしてお店に行くと、店員さんから「サービス期間なのでクジを一回どうぞ」と言われ、参加賞くらいだろうと思っていたら：当たっちゃったんです、特賞が！な、なんとプレイステーション2（最新のテレビゲーム機）のゲームソフト（全国で五千名に当たるもの）が…

実は、このゲームの本体を持ってない。このゲームの為にだけに、本体（約四万円）を買ってもねえ…これって良かった事？悪かった事？…だからといって、このソフトはお譲りできませんので、悪しからず。

●「わがみのうへのこと」

梶 純信



昔、ギリシャの哲人が空に輝く星をながめて、宇宙とは何ぞやと、高尚な考えにふけて歩いていたらとろを、通行人から「そこにアナがありますよ」と足もとを指さされ、ハッと我にかえったという話があります。

思えば、現在の社会では、やれコンピュータだの、インターネットだのメールだのと、居ながらにして世界中の情報を手に入れることができる、便利な時代になってきました。しかし、それを扱う人間自身は大昔からあまり変わってはいないのではないのでしょうか。

『蓮如上人御一代記聞書』には

「行きさきむかひばかりみて、あしもとをみねば、ふみかぶるべきなり。ひとのうえばかりみて、わがみのうえのことをたしなまずは、一大事たるべきと、仰せられ候。」

というお言葉があります。

時代に振りまわされ、他人に振りまわされてばかりの私にとってよくよく考えさせられるお言葉です。

新しい年、新しい世紀を迎えるにあたり「わがみのうへのこと」をしつかり見つめ直したいものです。

●南無阿弥陀仏

温井 卓生



現在では、お念仏という口で南無阿弥陀仏と称えることになっていますが、善導大師様のころは、そう

ではなく念仏とは、仏を念ずること、仏を憶うことだったのです。この念仏を念ずるとか憶うということとは、心が乱れていてはできないことです。ですから、見るもの、聞くものによつて常に心乱されているものにとつて、念仏することとは大変むづかしいことでした。善導大師様は、「常に心乱れるものでも、南無阿弥陀仏を称えることはできるでしょう」と、称えることをすすめて、「念ずるとは称えることだ」と教えてくださいました。ですから、いつも心乱れている私達が、いつでもどこでも南無阿弥陀仏のお念仏が出来るようにと、私達に教えてくださったのです。だから、いつでもどこでも南無阿弥陀仏のお念仏が口から出てくることをよるこばせていただきたいのです。

●「迷信」

日野 尊行



たまに悪霊ばらいの為に祈禱を行って下さいなどの電話を受けることがあります。しかしよくよく考えて

みたならばそれらは私達の気がおさまるように

作られた方便であることは明白です。たとえば安全祈願のお守りを下げておくと、おのずから運転が慎重になり、また、台所に火除けの札を貼つておいたら、煮たき物の火の扱いをおろそかにせぬようになり、悪霊ばらいをすると、気になって不安が解消されるなどの心理作用によるものなのです。ただし方便であるといつても、それ自体を信じない人や、その作用が裏目にて、さらに不安になるような人には何の効果もありません。要するにこれらは、私達のムシのいい気休めではないのです。念仏者はこういうものにまどわされない力強い生き方をしたいものです。

●「両親と阿弥陀様」

村田 法道



今日は「両親」ということをテーマとしてお話しさせて頂きたいと思ひます。

私たちは両親のいろいろな願いをこめてこの世に生を頂きました。よく親は、子供に「あなたが成人になるまで親の責任のよ！」とか言います。確かに今の日本では成人までの不祥事は親の責任として法律で制定されている。私も十代の頃、よく親に迷惑ばかりかけており、こつぱどく叱られ「本堂に行つて反省しなさい」と言われ、しづしづ本堂へ行つた事があります。

何とか成人を迎え昨年より小樽別院に着任致しました。私にとって小樽に行く事は、すべて自分自身の責任になるんだという親から自立するという事でした。しかし、慣れない生活にたびたび悩ませることがありました。その時いつも、実家の両親から知らないはずなのに電話がかかってきて「大丈夫か、元気でやっているか。」といつも気にかけてくれました。その時、「ああ、両親はわたしがいつでも、どこにいても気

にかけてくれていたんだ」と思いました。「親から見て、子供はいつまでも子供、子供から見ても、親はいつまでも親なんだなあ。」と、こ小樽に来て、その事を実感致しました。

阿弥陀様も「いつでも」「どんなときでも」気にかけて下さり、私たちをお浄土へ導いてくださる親なのではないでしょうか？

●秋刀魚

相馬 早苗



だんだんと寒くなり、雪が降る季節となりましたが、この時季になるととてもおいしく、みなさんもよく食べられると思ひます。すさんまについて調べま

したので、紹介します。

私も大好きな魚の1つであります。すさんまは、青魚に特有の栄養素EPA・DHAが多く含まれます。このEPAとは、血液をさらさらに保ち、スムーズに通ることのできるようにするのです。このことから高血圧や動脈硬化に良いとされています。そしてもう1つのDHAとは、脳細胞を活性化しボケ防止や学習期の子どもにも役立つとします。

食べる時のポイントですが、よくさんまとおろし大根の組み合わせで食卓に並びますが、ただのつけ合わせではなく、焼き魚の焦げには発がん物質が含まれており、この発がん物質は、大根に含まれているアミラーゼという酵素によって分解されてしまうのです。こんな効果があったとは、知らず知らずのうちに昔の知恵が受け継がれているのですね。

●「節目」

渡部 恵

今年も残り少なくな後わずかで終わろうとしている最中、こんな文章が目にとまりました。



「十二月三十一日と一月一日の間には、本来なんの節目もありません。しかし、人間は意識の中できつちりと区切りをつけることが出来ます。」

この文章を読み気が付いたことがあります。それは、人が何かを意識することによって気持ちを新たにし、向上するということなのではないでしょうか。

私も、子どもの頃、毎年新しい年を迎えるたびに、「両親に決まったように「今年の反省と、新年の抱負は？」と聞かれていたのを思い出しました。あまり意識してはおりませんでした。毎年聞かされるその言葉は、私の一年の区切りでもあり、節目だったのかも知れません。

今年も、今までのように杲然と、年を越すのではなく自分なりの節目を頭に置き年を越せればよいと思ひます。

2001年(平成13年) 年 回 表

1	周忌	平成12年
3	回忌	平成11年
7	回忌	平成7年
13	回忌	平成1年
17	回忌	昭和60年
25	回忌	昭和52年
33	回忌	昭和44年
50	回忌	昭和27年



あけましておめでとうございます。

新光保育園です。

私たちはみ仏さまに手を合わせます



「真の保育」を目標として、毎朝み仏様にかわいいお手を合わせ
「み仏様を拝みます」「いつも有難うといたします」
「お話をよく聞きます」「みんな仲良くいたします」とお参りし
て、一日の保育を始めています。



花祭り・降誕会・報恩講・誕生会・親子遠足・夏祭り・
水遊び・運動会・お遊戯会・お餅つき・カルタ大会等
楽しい年間行事がいっぱいあります！！

産休明け保育
生後57日目から
就学前までの
乳児・幼児を大切に
お預かりしています！
午前7:30から午後6:00まで



社会福祉法人 新光保育園

〒047-0152小樽市新光1丁目33番7号
TEL (0134) 54-8145番
FAX (0134) 54-8254番

